

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第4回西脇市総合計画審議会
開催日時	平成30年2月23日（金） 13時30分～15時
開催場所	西脇市役所（議会棟）2階 特別会議室
出席委員の 氏名又は人数	17名
欠席委員の 氏名又は人数	1名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	4名
議題又は 協議事項	1 まちづくり市民アンケートについて 2 総合計画策定に係る若者の意向等の把握について 3 西脇市の主要施策について
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会> 資料確認</p> <p><あいさつ> 審議会が始まって半年が過ぎ、今回が第4回となる。 本日は基本構想の大枠をお示ししたいと考えていたが、もう少し市の状況や具体的な行政活動について整理するとともに、若者から聴取した提案等の意見を報告し、理解・認識を深めてもらうこととした。</p> <p><まちづくり市民アンケートについて> 資料1、資料2に基づき事務局から説明</p>
事務局	
会長	
事務局	

<p>委員</p>	<p>表で示す比率（％）は、それぞれ回収数の 420件に対する比率か。</p> <p>各項目で基準値からバラツキが大きい。質問表現が難しいと感じるし、無回答も多いのではないか。例えば、子ども会活動について聞かれても、子どもがいる家庭なら、話しも違うだろうが、参加していない我々にはよくわからない。また、団体活動をしていることもあり、地域活動へ積極的に出て行くこともない。</p> <p>もう少し、年齢や子どもの有無で分類して、設問を設定すれば、比率が高くなるものもあるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>比率はご指摘の通り。</p> <p>設問によっては回答が難しいものもあると思うが、無回答はそれぞれ 1、2％程度に収まっている。</p> <p>このアンケートは平成24年度から同じ項目で継続して実施している。精度を高めるため、くどい表現を簡素化するなど苦慮している。まちづくり活動でも子ども会活動だけでなく、自治会活動も含め、各年代に置き換えて応えてもらえるよう、工夫をしている。</p>
<p>委員</p>	<p>A E Dでも講習会への参加者なら対象者も多いだろうが、使用できるかとなると、講習に参加した人でも自信をもって答えられない。</p>
<p>事務局</p>	<p>調査項目を講習会への参加者数とすれば数字は年々大きくなると思うが、目的達成のためには、使用できる人が増えたかどうか問われる。</p>
<p>委員</p>	<p>県で実施している県民モニターでは、若者、そして女性の回答数が少ないという傾向がある。西脇市では年齢や男女別の違いはあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>属性としては、女性の方がやや回収数が多い（55％）。これは、人口比率自体で女性の比率が高いこともあると思うが、女性の方が回答率も高い。</p> <p>回答者の年齢・年代については県と同様に懸案事項であり、人口構成と同様に偏りがあり、15歳以上を調査対象としているが、60歳以上で過半数を占める。</p> <p>その足りない部分を補う意味もあり、若者ワークショップ</p>

	<p>プや大学生からの政策提案を実施している。</p>
会 長	<p>属性によるクロス集計等は考えるのか。</p>
事務局	<p>集計は行っており、報告書としては本日の報告とは別に作成する。</p>
会 長	<p>若者の回答が少ないという課題はあるが、重要な部分なので、今後の報告を待ちたい。</p>
事務局	<p><総合計画策定に係る若者の意向等の把握について> 資料 3、資料 4、当日配布資料 1 に基づき事務局から説明</p>
委 員	<p>2月18日に行われた学生による報告会に参加したが、とても良いものだったので、続けてほしいと思う。私が高校生の時、西脇のことをあれほど考えていただろうかと思わされた。自発的ではないかもしれないが、今の高校生は、こういう発表の機会があることでそれができたと思う。機会をつくることで、西脇のことを知り、考えるきっかけになると思う。</p> <p>大学生の提案は良く考えられており、具体的である。高校生の意見は夢のある人を惹きつけるもので、それぞれに良いところがある。</p>
会 長	<p>行政としてもいろいろな試みをされており、成果が上がっているという意見をいただいた。</p>
事務局	<p>学生による報告会の資料は、後ほど市ホームページにアップする予定である。</p>
会 長	<p>大学生や高校生の意見は夢があるが、生活感がない場合もある。若者の視点という意味では、20代で働いている人の意見を聞く機会があっても良いと思う。改めて報告が公表されるとのことなので、期待する。</p>
事務局	<p><西脇市の主要施策について> 資料 5、当日配布資料 2 に基づき事務局から説明</p>

会 長	<p>これまで見てきた市の現況はマクロな部分が多く、本日は少し具体的な施策・取組の現状を聴いたので、参考にしてほしい。各施策・事業は現総合計画のもと、フォローアップされている。</p>
事務局	<p>前回までは社会潮流や各種統計データをもって、今後のまちづくりについて大きな視点で議論いただいた。ただ、それだけでは実際の行政運営がイメージしづらい部分もあると考え、新年度予算も含めて紹介させていただいたものである。議論の参考にしてほしい。</p> <p>昨年から「わかりやすい予算説明書」を作成している。新年度分についても完成後に配布させていただく。</p>
会 長	<p>個々の施策・事業について議論するのは難しいが、質問等があれば、お願いしたい。</p>
委 員	<p>当日配布資料2で「市税収入」をみると、固定資産税が減少している。理由はわかっているのか。</p>
事務局	<p>土地の評価額が低下傾向にあることと、新しく建てられる家屋が減り、家屋の資産価値が年々低下するのに伴うものだと考えている。</p>
副会長	<p>予算を投じた結果がどうなったか、また、どういう反省があったかということが見えない。膨大な業務になるだろうが、そういうところも知りたい。</p> <p>市の収入は市民税50%、固定資産税50%というところだろうが、固定資産税は、今年3年に一度の見直しがあり、また下がると思う。どうすれば活気がでるか、それぞれの地区で考えながらまちづくりに取り組んでいるが、今後も行政と同じ方向を向いて考えていきたい。</p>
事務局	<p>新しい総合計画に合わせて、事務事業の上の段階である政策・施策について評価する仕組みをつくる必要があると考えている。</p> <p>また、市民に税金の使い道を明らかにすることは大切であり、総合計画の課題の一つと考えている。</p>

会 長	事務事業評価は実施されている。チェックはしていかなければならないが、予算の執行結果を評価することは難しい。
事務局	現行の総合計画においてもまちづくり指標を設定し、評価を行っている。ただ、行政の取組だけで指標が上下するというものではないので、皆さんのお知恵をいただいて、より良い計画にしていきたい。
会 長	市民税・固定資産税とも減少しているのは心配である。
副会長	子ども・子育て会議の報告によると、今年は2～3歳児の保育の入所希望者が多く、一方で保育職員が集まらないということで、待機児童の発生に危機感を持っている。そういうことが起こらないようにお願いしたい。
委 員	0～2歳児では待機児童は出ているのか。市内でも西脇地区のこども園への入園希望が多いと思う。例えば黒田庄のこども園が空いているからと案内されても通園が難しい場合もあり、実際に選ぶのは保護者である。
会 長	国レベルでもご指摘のようなことが課題となっている。個々の施策については担当者がいないので、確実な回答はできないと思うがどうか。
事務局	改めて回答させていただく。
委 員	当日配布資料2の5ページに外国人英語指導教員に関する事業がある。平成29年度には英語検定に対する補助があったということで、英語力を上げることに力を入れていると聴いている。
事務局	引き続き英語検定に対する補助を行うほか、英語コミュニケーション能力調査であるGTECが、将来入試にも使われるということもあり、小6、中1、中2まで拡充して実施していきたいという教育委員会の意向がある。
会 長	現時点で個別事業についての議論は結論が出せないと思うので、疑問や質問があれば後日事務局に問い合わせてほ

事務局	<p>しい。</p> <p>次回は基本構想の枠組みについて提案いただき、議論をお願いすることになる。今後とも宜しく願います。</p> <p><その他></p> <p>次回以降は基本構想及び計画の骨格を提示させていただきたい。</p> <p>日程は調整の上、改めて連絡差し上げる。</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>